

予算特別委員会

移住・定住促進等
 対策事業

1585万1千円

Q 移住・定住において東和作戦会議という団体が大きな成果を上げている。成果が伸び悩む他の各総合支所（大迫・石鳥谷）へも、地域おこし協力隊等を活用して移住コーディネーター・空き家コーディネーターを配置する考えはないか。

A 東和地域の活動を横展開しようと、令和7年度、地域おこし協力隊で移住コーディネーターを募集したが応募がなかった。今後は再度協力隊を募集するのか、地元の人材に役割を担っていただくのか、支所等と連携して進め方を検討していく。

自主防災組織支援
 事業

202万8千円

Q 防災士会が設立されたが、その詳細を教えてください。また、防災士資格取得および活動支援の予算が組まれたが、イベント開催等に支援する考えがあるのか伺う。

A 令和7年度結成された防災士会は会員98名でスタートし、この1年間は収支予算を定めずに活動してきた。令和8年度は会費を集めて事業を進めていくことになっている。また、イベント開催等がある場合には市からの支援も考えている。

障がい者地域生活
 支援事業

1億2596万4千円

Q 障がい者地域生活のアンケートでは理解が進んでいると回答した市民は令和6年が39%目標に対して実績は33.3%であり市民は理解していないと見ているのか。

A 市の目標値は少しずつ上昇しているが、実績値として表れていない。市は広報やホームページで周知に努めている。「障がいのある人もない人も共に学び共に生きるまちづくり条例」は県では平成28年に条例制定しており県内では県のみである。花巻市は身体障がい者団体からの請願が議会で採択されたことを受け止めている。

地方譲与税

9億1710万8千円

Q 地方の財源とされていたガソリンの暫定税率廃止に伴い、地方の収入が心配になるが、今回の予算に反映されているのか。

A 予算書の譲与税について、3000万円の減となっているが、国の方で地方特例交付金として全額措置されるため、基本的に市への影響はないことになる。

空港利用促進事業

329万8千円

Q 花巻空港は岩手県の全体を担っている空港であるため、さらに、空港の拡充をするために羽田便の要望が必要と思うが、どのように考えているか伺う。

A 数年に一度、航空会社と空港関係者が一緒になって働きかける誘致のコンテストがあり、次回のコンテストの時期は決まっていなが、コンテストがある際はチャレンジし、要望していきたい。

高齢者介護予防対策
 事業（湯のまちホット
 交流事業）

3887万7千円

Q 本事業はコロナ禍以降に個人利用となったことで、利用件数や事業費が大きく増加している。市民から好評な事業だが、将来的な事業の持続可能性の観点から、市はこの現状と事業効果をどう評価しているか。

A 高齢者の外出や交流を促す一定の効果はあると捉えているが、介護予防につながっているという明確な証拠（エビデンス）を示すのが難しく、事業費が増大している点は課題である。団体利用への回帰や利用回数制限なども検討したが、令和7年度実施した交付枚数削減（12枚→10枚）の効果検証や温泉事業者の意見を伺う必要があるため、令和7年度中の制度見直しは見送り、令和8年度において引き続き検討していく。



佐々木精市 議員



■健康増進の取組について

Q

市民の健康データの分析および地域ごとの適正活用について伺う。

A

当市で行っている特定健康診査および後期高齢者検査、健康診査の結果や問診票、国民健康保険被保険者、その外来入院医療費等、それぞれデータの地域別、4地域で分析し各地域の健康課題を把握している。地域に向く形で各総合支所健康づくり窓口（配属されている担当保健師と共）に、地域に合わせた効果的な事業展開を検討していく。

■スポーツ振興について

Q

障がいの者のスポーツ参加を促進するための取り組みについて伺う。

A

花巻市スポーツ推進計画では、障がいの有無にかかわらず、市民がスポーツに参加できる環境づくりを重要な施策と位置づけている。障がいの者のスポーツ参加率はまだ低い状況にあるが、広域大会やイベント情報を発信するなど、参加機会の創出に努めると共に、各団体と連携し障がいの者スポーツが身近にできる環境づくりを進めていく。

■福祉について

Q

聞き取り困難症（LiD）および聴覚情報処理障害（APD）について、市民への理解促進に向けた取り組みについて伺う。

A

国では、国立研究開発法人日本医療研究開発機構における障害者対策総合研究開発事業により、診断と支援の手引きを発行するなど取り組みがされている。市としては国の動向に注視しながら情報収集を進め、関係機関と連携し、情報提供の在り方について検討する。市民に正しい理解を促し合理的配慮が行われる環境づくりに努める。



菅原ゆかり 議員



■女性農業者について

Q

「国際女性農業従事者年」の本年、女性農業者の課題の実態把握の実施について伺う。

A

アンケート調査の実施など課題等の実態把握は行っていないが、市が活動を支援している「農花アグリヴィリーノ」や「花巻地方生活研究グループ連絡協議会」、「花巻農村青年クラブ」また、農業委員や土地改良区理事の女性の方々からもお話を伺うこともある。今後農林水産省が実施している各種調査結果もあわせて今後の各種施策の参考にする。

令和8年度 予算審査

3月13日 3月12日 3月11日

審議の様子はこちら

市議会が注目した予算は次のとおりです。

予算特別委員会は、3月11日から3月13日までの3日間（わたり）令和8年度当初予算審査を行いました。各事業の担当課より予算の説明を受け、質疑を行い、最終日の本会議にて予算を可決しました。

市議会が注目した予算は次のとおりです。